

病院名・診療科等	会津中央病院(会津外傷再建外科センター)
担当責任者	伊藤雅之

概要／方針等

外傷再建センターは日本に2カ所しか設置してません。そのうち、軟部組織再建、関節機能再建ともに加療をしているのは当科のみとなります。外傷という疾患は、医療が発展してもなくなることはありませんし、多発外傷の多くは若者に発生し、その方々が社会復帰することは国にとっても非常に大切です。一方、高齢化が進み、転倒などの軽微な外傷も増えています。なるべく廃用性萎縮などを起こさないように、早期に適切な治療が必要となります。現在、データを積み重ね、この分野の日本での発展に貢献するべく治療をしています。

学習目標

【一般目標】

外傷に特有な診断と治療を経験し、患者の退院までの経過を経験することと、外傷後遺症に対する治療方針の検討、手術に参加し理解を深めることを柱にします。

【行動目標】

- 1 多くの医療関係者とともに治療する疾患であり、挨拶から始まるコミュニケーションをとる
- 2 救急科と共に多発外傷診断と治療に初期から参加し、理解する。外傷カンファレンスでの症例検討に参加する
- 3 一般外傷の診断と治療に参加し、理解をする。病棟・リハビリテーションカンファレンスに参加する。

テ キ ス ト 標準 整形外科 希望者のみ購入でよいです

参 考 書 勧められる本として 整形外科 研修ノート 診断と治療社 希望者のみ購入でよいです

評 価 方 法 実習態度、指導医とのディスカッションなどにより、総合的に評価する。

そ の 他 (メッセ ー ジ 等) 当院は外科系に興味のある学生一般に参考になる病院です。メスを握って治療をしたいと思っている方から麻酔、集中治療に興味のある方まで、対応可能と思います。

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

月曜日から金曜日

- ・モーニングカンファレンス 毎日の新入院患者の治療方針検討、および手術患者の術前検討
- ・外来助手 あるいは 手術助手
- ・病棟患者の回診 術後管理

月曜日 病棟患者カンファレンス、リハビリテーションカンファレンスで術後治療方針の検討

水曜日 外傷カンファレンス 救急科、整形外科とともに救急患者の症例検討

時間外

希望により、緊急手術のマネージメントから手術まで見学・実習

実際の主治医と共に行動し、治療方針など検討、実践しましょう

【実習担当指導医】

福島県立医科大学 外傷再建学講座 伊藤雅之 畑下智 水野洋佑 高橋洋二郎 新田夢鷹 他非常勤医師

病院名・診療科等	会津中央病院(会津救命救急科合宿研修プログラム)
担当責任者	島貫公義(県立医大臨床教授・外科)

概要／方針等

当院の救急医は、「救急外来(ER)」と「集中治療(ICU)」を診療の主な柱としている。本プログラムはERとICUにおける診療を体験し、対応できる基礎的能力の修得をめざす。救急医療の現場では多種多様な患者が訪れ、一人の患者が様々な問題点を抱えていることも決して稀ではない。そうした状況で、限られた時間の中で適切な診断と治療を行わなければならない。医療が専門分化するなかで、救急医には様々な診療領域・臓器にまたがる幅広い知識が求められる。また、急性臓器不全、多発外傷、急性中毒、プレホスピタルケアとの連携、災害医療などは、救急医が特に精通すべき事項であることを認識する。

学習目標

【一般目標】
重症患者さんの初期診療がどのように行われ、その患者さんを集中治療室がどのように引き継いでいるかを実感し、重症患者さんの診療が病院前から救急外来、集中治療室まで、急性期専門治療後から慢性期、そして在宅まで、シームレスにつながっていることを医学生の時から意識づける。スタッフと共に学生としてできることを考え、救急医療のできる医師になるために何を学習しなければならないかを学ぶ。

【行動目標】
指導医および上級、初期救命科研修医師とのマンツーマン体制で研修を行う。救急科BSLの研修の目標は、以下のとおりである。
初期/後期研修医と常に行動を共にし 研修医とともに学習する
救急医療で求められる診療能力について学ぶ
・救急患者の初期対応(診断、治療)の基本的事項を初期研修医とともに修得する
・集中治療(ICU管理)の基本的事項を修得する
・プレホスピタルケアの基本的事項を修得する
研修内容と到達目標
・救急外来における患者の診断と処置の実施・参加
・創傷処置、各種中毒に対する対応・実施・参加
・各種X線、CT、MRIの読影、超音波検査法の実施と診断
・ICUにおける集中治療の経験・参加
・救急蘇生法、BSL、ACLS、JPTEC、JATECの概要を知る
一次救命処置を実施できるようになる
二次救命処置に参加する
・救急車、ドクターカーの同乗実習
・血管撮影、インターベンショナル・ラジオロジーの基本的事項の見学・参加
・プレホスピタルケアのメディカル・コントロールについて知る
・消防署からの搬入依頼に対して対応を看護師・研修医と共に経験・参加する
・社会福祉的問題の基本的な対処法を知る
・各専門診療科での治療への参加・見学
(脳外科 循環器科 外科 消化器科 外傷再建外科など)

テキスト	
参考書	
評価方法	経験した1症例のCase reportを作成する
その他(メッセージ等)	

実習計画／担当指導医等

【実習計画】
回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]
月曜～金曜まで救命ER・ICUにて初期研修医・後期研修医と行動を共に、基本24時間体制で研修する

【実習担当指導医】
救命科 佐竹秀一(県立医大臨床准教授)

病院名・診療科等	会津中央病院(産婦人科研修プログラム)
担当責任者	武市和之

概要／方針等

産科・婦人科の臨床実習(特に手術)がメインのプログラムです。

学習目標

【一般目標】

女性の生理的、形態的、精神的特徴あるいは特有の病態を把握し、プライマリケアにおける産婦人科の基本的な診療能力を習得する。

【行動目標】

- 1、全科に通じる基本的な診療能力やカルテの書き方を身につける。
- 2、外科的手技(縫合、結紮)を習得する。開腹手術および腹腔鏡手術に第2助手として参加する。
- 3、術前・術後の周術期管理を学ぶ。
- 4、胎児超音波検査を体験する。
- 5、自然分娩・帝王切開に立ち会う。
- 6、産婦人科外来を見学し、診察時の考え方や産婦人科特有の診察技法を学ぶ。

テキスト	病気が見える産科/婦人科
参考書	
評価方法	経験した1症例のcase reportを作成する
その他(メッセージ等)	

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

＜月曜日＞	＜火曜日＞
8:30~8:45 / 病棟処置	8:30~9:00 / 病棟処置
8:45~9:30 / 院長診察・回診	9:00~9:30 / 回診
9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来	9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来
	(10:30~11:00 / 放射線カンファランス)
12:30~15:00 / 手術	12:30~15:00 / 手術
15:00~17:00 / 病棟処置・外来	15:00~17:00 / 病棟処置・外来
17:00~17:30 / 病棟カンファランス	(17:00~17:30 / ケモカンファ 毎月第1・3週)
＜水・金曜日＞	＜木曜日＞
8:30~9:00 / 病棟処置	7:30~8:00 / cancer bord
9:00~9:30 / 回診	8:30~8:45 / 病棟処置
9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来	8:45~9:30 / 院長診察・回診
	9:30~12:00 / 病棟処置・手術・外来
12:30~15:00 / 手術	12:30~15:00 / 手術
15:00~17:00 / 病棟処置・外来	15:00~17:00 / 病棟処置・外来

- ※このほか不定期にDrug Informationが開催されます。
- ※毎月第1・3火曜日の17:00~17:30にケモカンファを行います。

【実習担当指導医】

武市和之

病院名・診療科等	会津中央病院(脳神経外科研修プログラム)
担当責任者	前田 佳一郎

概要／方針等

入院患者の診察および処置、救急患者対応、手術などに参加する。脳神経外科疾患の基本的知識の理解とそれらの疾患の診断、治療方針、手術手技の基本を修得する。

学習目標

【一般目標】
脳神経外科疾患の基本を理解し、診断、治療方針、手術手技の基本的知識を習得する。実践的な知識と手技習得を目指し積極的に学習する。また医師として患者への接し方や協調性を身につける。

【行動目標】

a) 一般診療
問診および全身的診察ができる。神経所見を的確に把握する。
日常の一般的投薬、術前後の処方に対する知識を身につける。
患者、家族と良好なコミュニケーションがとれる。

b) 疾患に対する知識
脳神経外科疾患を中心に神経疾患全般にわたり、基本的知識を身につける。
最新の知見の収集ができ、日常診療に役立てられる。

c) 検査
全身所見のみならず神経学的理学所見を確かにし、的確な思考過程をもとに必要な補助検査を知る。
画像所見の異常を指摘でき、基本的な診断と治療方針を述べられる。
患者のrisk factor、術前の十分な検査計画を理解する。
術後の経過観察に必要な検査計画、術後合併症を理解する。

d) 治療
意識障害や急変時の患者に対応することができる。
基本的脳神経外科手技の知識を身につける。
手術での各助手の立場を理解し、充分遂行できるようにする。

テキスト	特に指定しない
参考書	特に指定しない

評価方法 積極性や遅刻・欠席の有無などの実習に対する姿勢、知識(神経所見、画像所見、診断)ならびに技能(病棟および手術室での手技)を総合的に判定する。

その他(メッセージ等)
当院では、脳神経外科医を24時間体制で院内に配置し、救命救急センターとの連携により、脳梗塞や脳出血などの、救急時の対応もスムーズに行われます。
特に緊急時は、救急専門医や脳神経外科専門医、麻酔科専門医のチームワークによって支えられ、スムーズに検査・治療が出来る体制になっております。会津地区の地域的な特徴もあり、広大な地域から沢山の患者さんが集まってきます。緊急手術症例数も多く、全ての検査、処置が迅速に行われ、また最近では脳血管内治療にも力を入れており、一つの疾患に対し外科的アプローチ、内科的アプローチが可能な環境を整えています。

実習計画／担当指導医等

【実習計画】
脳神経外科医師と同様の日程で実習、見学を行う。日程は状況により変動あり。
○火曜 水曜 金曜
午前:手術 午後:病棟処置、患者診察等
○月曜 木曜
午前:カンファレンス、病棟処置、患者診察等 午後:回診、病棟処置、患者診察等

緊急手術、救急患者対応 など

【実習担当指導医】

前田 佳一郎

病院名・診療科等	会津中央病院(手術実践体験研修プログラム)
担当責任者	島貫公義(県立医大臨床教授・外科)

概要／方針等

座学より、手術を体験する研修です。当院で行われる消化器、呼吸器、心臓血管外科、泌尿器科など外科系手術に可能な限り参加・体験する。術前・術中・術後(周術期)のチーム医療・安全管理に参加し体験する。

学習目標

【一般目標】

大学では短期間に体験できない複数診療科の手術に参加し、術前・術中・術後(周術期)のチーム医療・安全管理についての基礎事項を理解する

【行動目標】

- 1手術症例を担当し case reportを作成する
パワーポイントによる症例発表までの手順を体験する
 - 可能なかぎり腹腔鏡 胸腔鏡手術、心臓血管外科手術、泌尿器科、その他興味ある手術へ積極的に参加する。
 - 手術参加のための予習をおこなう
- 参加手術ごとに
- 1) 診断法 2) 手術適応、術前評価、術前管理 3) 手術法 4) 術後管理
 - 5) 術後合併症について 予習し簡単なサマリーを提出する
 - 6) 術後に 実際の手術所見、手術手技について簡単に発表する
- DaVinciのシミュレーター体験
 - 腹腔鏡 胸腔鏡のドライラボでの体験 結紮 縫合の体験
 - 手術室での安全管理ノテクニカルスキルについて講義を受ける

テキスト
参考書

評価方法

その他(メッセージ等)

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

回数・月日(曜日)時限 --- 項目[内容(キーワード等)]

研修期間中の各診療科の手術より 興味ある症例を選択し、術前予習後に手術に参加し行動目標を達成する
ドライラボでの実習は外科スタッフが指導する

【実習担当指導医】

渡辺洋平(福島県立医大 消化器外科)